|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| シーン | 画面 | セリフ |
| 1 |  | 箕面市市民部市民サービス政策室自治会係です。いつも自治会活動ご苦労さまでございます。この動画は、令和4年12月に開催の、自治会説明会での説明内容を動画にしたものとなります。 |
| 2 |  | この資料は、自治会の回覧板について、スマホに置き替えませんか？というご提案です。参加者全員に、スマホとLINEアプリが必須にはなりますが、無料で30分ぐらいで試していただける内容となっております。この資料では、４項目で概略のみご説明しますが、ご興味を持っていただけましたら、詳細手順書や解説動画も用意していますので、ぜひそちらもご覧ください。 |
| 3 |  | それでは、まず１of4概要編を説明します。①目的は、紙の回覧板をスマホに置き換えて、効率化しましょう、というものになります。②しくみは、GoogleとLINE公式アカウントとを組み合わせます。会長さままたはこのSNS回覧板をご担当していただくかたのスマホでメッセージを作成していただいて、参加者のスマホへ情報発信していただきます。いわゆるグループトークを思い浮かべるかたもいらっしゃると思いますが、それとは少し違います。③対象者は、スマホをお持ちでLINEも使っているよ、というかたでなおかつ、参加を希望していただけるかた、ということになります。必ずしも全員が参加してくださるとは限らないとは思いますが、とても手軽で便利な方法ですので、徐々に広げていけたらいいな、と思っております。④費用は、Google・LINEともに無償プランの範囲内での活用を想定しています。有償プランもあるのですが、本件ではそこまでは不要と考えております。もう少し詳しい資料をのちほどご覧いただきます。⑤自治会会員さまの参加のしていただきかたですが、ご自身のスマホでQRコードを1回読み取っていただくだけです。⑥プライバシーについて、これは特に申し上げておきたいのですが、今回の方法では、参加者の連絡先を集めたり、変更になったら修正するとか、そういったことが不要です。グループトークとは違って、参加者同士が「友だち」登録されるということもありません。 |
| 4 |  | イメージとしては、会長さままたはこのSNS回覧板をご担当していただくかたのスマホでメッセージを作成していただいて、参加者のスマホへ情報発信していただく、という形になります。 |
| 5 |  | では、LINE公式アカウントとはなんぞや、ということなのですが、LINEをすでにお使いであれば、ご家族やおともだちとトークをされていると思います。また、企業とかお店とか自治体とかから、お知らせメッセージが届くこともあるのではないでしょうか。まさにその、個人ではなくて企業やお店や自治体などのものが、「LINE公式アカウント」です。みなさんLINEを使われる際、電話番号に紐付けられていると思います。ですから、「LINE公式アカウント」を作る、というと、どうやって作るんだろう、ちょっと大変かな、と思われるかもしれませんが、実は、必要なのはメールアドレスひとつだけで、とても手軽に作ることができます。また、詳しい説明は割愛しますが、作成した段階では「未承認アカウント」という扱いになります。そのままで何の問題もないのですが、LINE株式会社に申請して認められますと、「承認済アカウント」という扱いになって、検索したときに出てくるようになったりします。「LINE公式アカウント」を友だち登録しますと、メッセージが届くようになりすが、グループトークと大きく違う点として、「LINE公式アカウント」を友だち登録した人同士というのは、友だち登録はされません。したがって、同じ「LINE公式アカウント」を友だち登録しているからといって、他の参加者から個人宛にメッセージが来るということはありません。 |
| 6 |  | 「LINE公式アカウント」を無料で使える範囲としては、ひと月に、「参加者の人数×送信したメッセージの数」が1,000になるまで」となります。こちらLINE株式会社のHPの画面ですが、たとえば100人の参加者がいるとしたら、10回までメッセージが送れます、ということです。したがって、参加者が1,000人を超えてしまうと、無料の範囲では使えない、ということになります。参加者が1,000人を超えることが想定される場合には、班分けをしていただく必要があると思います。 |
| 7 |  | 次に、2of4準備編を説明します。「LINE公式アカウント」を作るには、メールアドレスだけあればよい、とお話ししました。みなさんメールはすでにお使いとは思いますが、本件では、新規にGoogleアカウントを作成することを推奨しています。それは、IDやPWを、何年かしたら後任のかたに引き継げるようにするためです。また、LINEのトーク画面で、添付ファイルを付けることもできますが、これは1週間ほどしますと削除されてしまうので、後で見返すということができません。ですので、共有したいファイルなどは、Googleドライブに置いて共有設定にし、そのリンクをLINEで流す、というやり方を想定しています。「LINE公式アカウント」は専用の管理アプリがあり、参加者に読み取ってもらうためのQRコードを作ったり、配信するメッセージを作成したりできます。そちらの操作方法なども、詳細手順資料でご説明しています。 |
| 8 |  | 続きまして、3of4基本編を説明します。まず、参加者にはLINEアプリなどで、さきほどのQRコードを読み取っていただきます。そうすると、「LINE公式アカウント」の友だち登録画面に飛びますから、友だち登録していただきます。これで、いよいよ、みなさんにメッセージを見ていただける状態になるわけですね。実際に回覧したいチラシのPDFなどをGoogleドライブに置いて、共有設定をします。共有設定は、ファイルそのものにかけてもいいのですが、共有専用のフォルダを作って、そのフォルダ自体に共有設定をかければ、リンクが固定で使い回せるので、便利かな、と思います。リンクをコピーして、LINEの管理アプリでメッセージ送信すると、すぐに参加者にみていただけます。イベントの急な中止とか、変更の連絡などに使っていただいても便利だと思います。 |
| 9 |  | 最後に、4of4応用編を説明します。基本編でご説明した機能だけでも充分便利だと思いますが、応用編として、Googleフォームについて、触れておきたいと思います。これはいわゆるアンケート機能であり、カンタンに設問を作れますし、入力フォームへのリンクをURL形式やQRコードで配布すれば、回答用紙の回収も不要ですし、自動で集計されてグラフ化されますので、便利です。 |
| 10 |  | 最後に、GoggleとLINEの、公式HPページもご紹介しておきたいと思います。当方でも詳細手順書や解説動画を作りましたが、わかりにくい、情報が足りない、という場合には、これらのHPを参照いただければと思います。 |